

# 高等学校第3学年 公民科（倫理） 学習指導案

## 1 単元名

「日本の仏教思想」（「高校倫理 新訂版」 実教出版）

## 2 単元について

(1) 本単元は、日本的な美意識や自然との関わりについての考え方などを取り上げ、日本人の心情やものの見方・考え方と風土との深い関わりを理解させるとともに、これらが仏教を受容することによってどのように変化したか、また何が変化しなかったかについて考察させるものである。

本実践では、単元を貫く問いとして「日本（人）らしさとは何か」という問いを設定し、単元を通して探求的な活動を取り入れる。このことにより、生徒たち自身が「日本のよさ」や「日本の課題」に気付き、これからの日本人はどうあるべきかを考えることにつなげていくことをねらいとする。

また、この探究的な活動を対話的な手法により展開することで、本科目で育成を目指す資質・能力として設定した「自分の生き方について考え、それらを伝える力」を育むことや、学校教育目標である「将来、世界中で活躍できるグローバルな視点と能力を持つ、故郷熊本を支える地域人材の育成」の実現にもつなげることをねらいとする。

(2) 本単元の系統は次のとおりである。

中学校	第2学年（9月）	第3学年（11月） 本時	第3学年（12月）
<p>「私たちが生きる現代社会と文化」 〔公民的分野〕 我が国の伝統と文化及び文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>「中世国家の形成」 〔日本史B〕 仏教の受容に見られる多様な動きの社会的・思想的な意義やその影響について考察させるとともに文化に新しい機運が生まれたこととその背景を考察させる。</p>	<p>「日本の仏教思想」 〔倫理〕 日本人に見られる人間観や自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解させ国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>「伝統の自覚と新たな課題」 〔倫理〕 西洋文化摂取後の近代思想に基づいて新しい文化や思想を形成しようとした先哲を取り上げ、それらが現代に生きる日本人の思想形成にどう影響したかについて考察させる。</p>

(3) 生徒の実態は次のとおりである。

- 「倫理」は本校の選択科目の中でもオープン科目であり、複数の系列の生徒が履修している。普通系列に属し、進学や公務員を目指す生徒が半数を占めている一方で、教養を深めることを目標に選択している生徒もおり、科目への興味・関心に幅がある状況がある。
- 「社会科、地歴・公民科」は「暗記がすべて」という認識を持っている生徒も多く、これからの自分の生き方について主体的に考え、様々な課題を見だし、選択・判断しようとする意識の育成に課題が見られる。

(4) 指導に当たっては次の事項に留意する。

- 単元を貫く問いを設定し、その問いを探求することの意義を明確に示すことで、生徒の学びへ向かう意欲を高めるようにする。
- 学習内容について、具体的な事例を用いて考えさせることで、生徒が自分の生き方と関連付けて理解できるようにする。また、そのことにより生徒の意見を引き出すようにする。
- 学習課題の解決のための資料等を複数提示することにより、生徒が適切な資料等を自ら選択し、様々な視点から考えを表現できるようにする。
- 研究の視点に基づき、次のような工夫を行う。

**【研究の視点①】**

「見方・考え方」に着目した問いの工夫

自分の在り方や生き方についての自覚を深めることへ向かうような「単元を貫く問い」を設定する。また、問いを解決する過程において、文化、宗教、自然観などの多様な視点から課題を捉えさせ、考えさせる。

**【研究の視点②】**

学びを実感する振り返りの工夫

1 単位時間ごとに習得した知識や概念を自分の言葉で表現し、その記録をもとに「単元を貫く問い」を解決する活動を通じて、自己の考えの変容と、表現力の高まりを実感させる。

3 単元の見目標と評価規準

単元の見目標	古来の日本人の心情や日本の先哲の考え方を手掛かりに、自分の生き方について考え、それを表現することができる。		
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
我が国の風土や伝統及び外来思想の受容に対する関心を高め、日本人に見られる人間観や自然観、宗教観などについて意欲的に探究し、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について、考えようとしている。	我が国の風土や伝統及び外来思想の受容に触れながら、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について自己との関わりを踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について探究するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	我が国の風土や伝統及び外来思想の受容に関する資料を読み取ることを通して、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観等の特質についての理解を深め、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について探究する学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。	我が国の風土や伝統及び外来思想の受容に触れながら、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質を、他者とともに生きる主体としての自己形成の課題とつなげて理解し人格の形成に生かす知識として身に付けている。

4 指導・評価の計画（7時間取扱い 本時1 / 7）

単元を貫く問い：「日本（人）らしさ」とは何か？

次	時	学習活動	研究の視点	評価
一	1 本時	1 「単元の学習目標」を把握する。 2 「単元を貫く問い」について、日本文化の特徴を通して考える。	【研究の視点①】 「見方・考え方」に着目した問いの工夫  【研究の視点②】 学びを実感する振り返りの工夫	【思考・判断・表現】ワークシート 【資料活用 of 技能】ワークシート
		3 「単元を貫く問い」の解決へ向けて、日本人の自然観や仏教の受容について知る。 ○日本の風土と自然観、八百万の神、倫理観		【知識・理解】小テスト
二	3	○仏教の受容と奈良仏教の展開（聖徳太子）		【思考・判断・表現】ワークシート
	4	○平安仏教（最澄と空海）		【知識・理解】小テスト
	5	○鎌倉仏教（1）（法然と親鸞）		【思考・判断・表現】ワークシート

	6	○鎌倉仏教（2）（栄西と道元，日蓮）		【知識・理解】小テスト
三	7	4 「単元を貫く問い」について，1枚ポートフォリオの記録を基に，自分の考えをまとめて発表する。 5 単元で学んだことを，これからどう生かすか考える。	【研究の視点①】 【研究の視点②】	【関心・意欲・態度】ワークシート，観察

## 5 本時の学習

### (1) 目標

日本の文化に関する諸資料に触れることを通して，「日本（人）らしさ」とは何かを考える。

### (2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の主な留意点及び評価	備考
導入 10分	<p><b>【単元を貫く問い】 「日本（人）らしさ」とは何か？</b></p>		単元を貫く問いの 掲示 1枚ポートフォリオ
	1 前時の終末に示しておいた本単元を貫く問いについて，確認する。	○「日本（人）らしさ」とは何かについて，前時に1枚ポートフォリオに記入した自分の考えを確認する。 <b>【研究の視点②】</b> 単元を貫く問いについて，単元導入時の自分の考えを記録しておくことで，単元終末時の考えの変容を見取れるようにする。	
	<p><b>【本時の学習目標】</b> 日本の文化を通して「日本（人）らしさ」とは何かを考える。</p>		
	2 本時の学習目標と学習の流れを確認する。	○本時の学習目標と本時の学習の流れを説明し，生徒が見通しを持って授業に参加できるようにする。	学習目標の掲示 学習の流れの掲示
	3 「翔陽（生）らしさ」とは何かについて考える。	○肯定的な意見を引き出すようにする。 ○自由に発言させ，全体で意見を共有する。 ○「～らしさ」について考えることが，アイデンティティの確立や誇り，自己の課題の発見につながることに気付かせる。	
	<p><b>【言語活動】</b>（設定の意図） 自分事として捉えやすい問いについて考え，自由に意見を発表する活動を通して，単元を貫く問いについて，主体的に解決しようとする姿勢を引き出す。</p>	<b>【研究の視点①】</b> 「～らしさ」について考えることの意義に気付かせることで，単元を貫く問いを自分事として捉えさせる。	
展開 30分	4 絵画や写真，文芸作品などの諸資料を通し「日本（人）らしさ」について考える。	○校舎周辺の造園や枯山水の写真を提示し，自分たちの身近にも日本の伝統的な文化が生かされていることに気付かせる。	写真
	<p><b>【本時の学習課題】</b> 日本の文化に関する資料を通して，「日本（人）らしさ」について考えよう。</p>		
	(1) グループ（ペア）で意見を出し合う。（10分）	○次のA～Cの各資料のうち1つをもとに，グループ（ペア）で「日本（人）らしさ」について考えさせる。	

	<p>(2) 各グループで出された考えをクラス全体で交流し、共通点や相違点を見いだす。(10分)</p> <p>【言語活動】(設定の意図)  対話を通して合意形成を導こうとする活動を通して、多面的に考察したり、試行錯誤しながら自らの意見を表明し社会に参画しようとする力を育む。</p> <p>(3) 学習課題について、クラス全体の考えをまとめる。(10分)</p> <p>5 日本文化に関する諸資料を通して考えた、「日本(人)らしさ」について、自分(個人)の考えをまとめる。</p> <p>6 授業への取組や自己の変容について振り返る。</p>	<p>○付箋にキーワードを記入させ、意見を共有させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料A「日本庭園」と「欧風庭園」</li> <li>・資料B「陶芸茶碗」と「ティーカップ」</li> <li>・資料C『平家物語』と『traveling(宇多田ヒカル)』と『方丈記』</li> </ul> <p>(生徒の理解度に合わせて口語訳を提示する。)</p> <p><b>【研究の視点①】</b>  <b>学習課題について、多様な視点から考えさせることで、日本文化の特質についての理解を深めさせる。</b></p> <p>○各グループ(ペア)の考えを書いた付箋を意見集約用のワークシートに貼りながら、クラス全体で意見を交流させる。</p> <p>○内容が近い付箋どうしは近くに貼り、グルーピングさせていく。</p> <p>○プラスイメージの意見と、マイナスイメージの意見を軸にして、日本の文化に見られる「日本(人)らしさ」とは何かについて、全体の意見をまとめさせて、発表させる。</p> <p>○日本文化に見られる「日本(人)らしさ」について個人の考えをまとめさせ、1枚ポートフォリオに記入させる。</p> <p><b>【研究の視点②】</b>  <b>本時の学習課題についての自分の考えを1枚ポートフォリオに記録しておき、単元を貫く問いを解決する手掛かりとする。</b></p> <p>○自分の考えを表現するのが難しそうな生徒には声かけをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価：思考・判断・表現(ワークシート)</p> <p><b>B基準</b> 資料を通して「日本(人)らしさ」とは何かについて考え、文章で表現している。</p> </div> <p><b>A基準</b> 複数の資料を比較しながら、日本の文化を通して「日本(人)らしさ」とは何かについて考え、文章で表現している。</p> <p>〈B基準に達していない生徒への手立て〉</p> <p>○個別に声かけを行い、学習課題についての意見交流を通して感じたことや考えたことについて聞き取る。</p> <p>○授業への取組や自己の変容について自己評価させる。</p>	<p>付箋  グループ用ワークシート  資料A(写真)  資料B(実物)  資料C(文書)</p> <p>意見集約用ワークシート</p> <p>1枚ポートフォリオ</p> <p>ワークシート</p>
--	--	---	---

整理  
10分